

姉妹都市

イタリア コモ市

「絹」で結ばれた2つの都市
温かい交流の絆を次の世代へ

イタリア北部に位置するコモ市は、十日町市と同じく絹製品の産地としても名高く、それが縁で1975年2月27日に姉妹都市提携を締結しました。それ以来、「十日町・コモ姉妹都市交流協会」が主体となり、さまざまな交流事業を展開しています。2015年には姉妹都市提携40周年を迎え、交流は次の世代へと着実に受け継がれています。



■パイロットツアー(十日町市)／イタリア人観光客を誘致する新プロジェクトをスタートするにあたり、2013年8月、8人のコモ市民が十日町市に滞在し、日本での生活・文化・観光などを体験しました。

The city of Como in the north of Italy is, like Tokamachi City, famous for the production of silk products. As a result, the cities formed a sister-city affiliation on 27 February, 1975. Since then, the Tokamachi & Como Sister City Exchange Association has been developing various exchange programs. In 2015, the sister-city affiliation commemorated its 40th anniversary, and the exchange is steadily being passed on to the next generation.

位于意大利北部的科莫市与十日町市均以盛产丝绸制品而著称，两市以此为缘，于1975年2月27日签订了缔结姊妹城市的协议。由此以来，以“十日町科莫姊妹城市交流协会”为主体，开展了丰富多彩交流活动，2015年将迎来签署姊妹城市协议40周年，两市之间的友好交流将被下一代继承和发扬下去。

International Exchange of TOKAMACHI CITY

国際交流 of 十日町市

- ◎姉妹都市提携／イタリア コモ市
- ◎サッカー交流／クロアチア
- ◎日豪交流／オーストラリア

日豪交流

オーストラリア

大地の芸術祭で育まれた日豪交流のシンボルハウス
オーストラリア・ハウスは、大地の芸術祭を通して深めた十日町市とオーストラリアとの交流の結晶として2009年に誕生しました。その後、2011年の長野県北部地震により倒壊しましたが、オーストラリア大使館や豪日交流基金の支援により2012年の大地の芸術祭に再建され、豪日交流の架け橋としてさらに大きな期待が寄せられています。



洗練されたデザインの建築作品でもあるオーストラリア・ハウスは、2013年、オーストラリア建築家協会より「ヨーン・ウツソン国際建築賞」を受賞しました。

Australia House was created in 2009 as the embodiment of the exchange between Tokamachi City and Australia, which was deepened through the Art Festival of the Earth. Although it was destroyed in North Nagano Earthquake of 2011, it was reconstructed for the 2012 Art Festival of the Earth with support from the Embassy of Australia and Australia-Japan Foundation. There are great expectations for it as a bridge of exchange between Australia and Japan.

以大地艺术节为媒介，十日町市与澳大利亚之间的交流不断得到深化，其中于2009年建成的澳大利亚大厅是两国人民友好的结晶。该建筑物虽然在2011年发生的长野县北部地震中倒塌，但在澳大利亚大使馆和澳日交流基金的援助下，于2012年的大地艺术节中得到了再建。人们热切期待着通过这座澳日交流的桥梁，两国人民的友谊将取得更进一步的发展。

サッカー交流

クロアチア

世界水準のピッチが育んだ
クロアチアとのスポーツ交流

2002 FIFAワールドカップでクロアチア代表チームがキャンプを行った当間多目的グラウンドは「クロアチアピッチ」と名付けられています。2012年7月に完成したクラブハウスとともに「スポーツ交流」や「国際交流」の拠点として、多くの市民から愛されています。

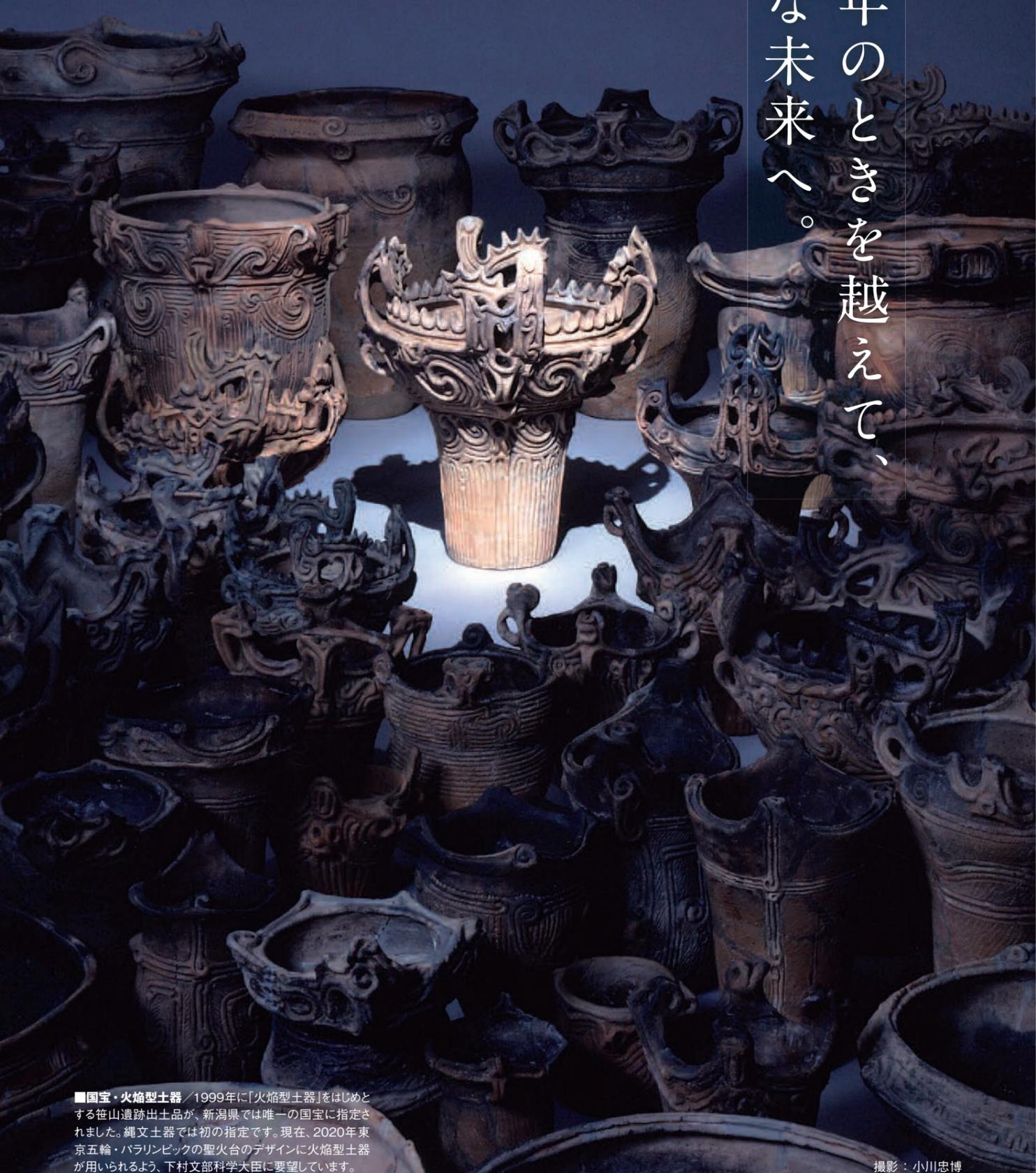
The grass pitch, where the Croatian team camped during the 2012 FIFA Japan-S. Korea World Cup, was named the Croatia Pitch. Along with the club house, which was completed in July, 2012, it is loved by many citizens as the base of sports exchange and international exchange in the city.

在举办2002FIFA日韩世界杯足球赛期间，克罗地亚队曾在我市的足球场安营训练，该球场由此被命名为“克罗地亚足球场”，并与2012年7月建成的足球俱乐部会所一起，作为“体育交流”和“国际交流”基地，受到了广大市民的喜爱。



2012年7月、「ジャパン・クロアチア フレンドシップハウス」の竣工式。元駐日クロアチア共和国大使Dr. ドラゴ・シュタンブク閣下のご厚意により、クロアチアの建築家「P&Rアーキテツ」からデザインの無償提供を受けて建設しました。

五千年のときを越えて、
新たな未来へ。



■国宝・火焰型土器 / 1999年に「火焰型土器」をはじめとする笹山遺跡出土品が、新潟県では唯一の国宝に指定されました。縄文土器では初の指定です。現在、2020年東京五輪・パラリンピックの聖火台のデザインに火焰型土器が用いられるよう、下村文部科学大臣に要望しています。

撮影：小川忠博